

ケアマネ・ポート

CONTENTS

- 2 会長就任のご挨拶
- 3 役員紹介
- 7 平成18年度事業報告について
- 18 平成19年度京都府介護支援専門員協議会通常総会報告
- 19 平成19年度収支決算報告について（平成19年4月1日～10月31日）
- 20 お知らせ
- 20 編集後記

会長就任のご挨拶

会 長 上原 春男



介護保険の創設にともない設置されました介護支援専門員という我々の職種がありますが、設置当初は、新しい職種であるがゆえに、実質的にどのような内容で活動するのか、あるいはその仕事量は等々、未知な部分も多く、多くの不安をかかえての出発でありました。

これらの不安対策として介護保険に関する情報の発信や、介護支援専門員同士の情報交換の場、また介護支援専門員が抱える問題の相談の窓口として、そしてさらには介護支援専門員の資質の向上を目的として、介護支援専門員の職能団体として平成12年11月関係27団体の協力を得て、京都府介護支援専門員協議会が発足いたしました。

本会としましては、ケアマネポートやホームページによる情報の発信や相談窓口の設置、交流の場という意味も含めた各種研修会の開催など、その当初の目的はほぼ達成できたのではと考えております。

しかしながら、介護支援専門員という職種に対する社会的認識が深まるにつれ、本協議会が任意団体であるにも関わらず、京都府、京都市からの委託事業や、各種委員会への役員派遣依頼の増加など、すでに公益性の高い団体としての活動をしてまいりました。また、介護支援専門員そのものにも求められるものも年々多くなってきており、本会も法人格を持つ団体への移行が求められるようになりました。

これを受けて、法人化へ移行することが、4月14日の臨時総会においてご承認いただき、法人化にむけての努力をしてまいりました。

その結果、法人化担当理事はじめ各理事、またなにより事務局の大変な努力により、10月11日、京都府より社団法人としての認可がおりました。

本会が任意団体・介護支援専門員協議会から社団法人・介護支援専門員会に移行したということはこれまでの任意団体とは大きく意味を違え、公共性・公益性の高い役割を果たす団体として活動していかなければなりません。

今後は、これまでの会員向けの活動に加え、京都府民の多岐にわたる要望に的確に応える京都府民の団体としてもあらねばなりません、会員の皆様のご協力なくしてはなしえないことでもあります。

今後とも、これまでもまして皆様方のご協力をお願い致します。

■ 役員紹介 ■

副会長

北川 靖



副会長の北川です。医療や介護を取り巻く環境が一段と厳しさを増す状況下、会員の皆様には地域の高齢者や支援を必要とする方のために、献身的に尽力されていると存じます。

日本の社会保障が世界から高く評価され維持されてきたのは、従事している者の高い意識と抑えられた報酬によるところが大きいと考えますが、もはや限界に達しています。当会は法人となりましたが、社会から要請される役割を果たすとともに、今後会員の就業環境を守るために一層努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

清水 紘



療養病床再編という、財政主導による国民を全く無視した政策が実行されようとしている。平均要介護度4.7の介護療養病床に入院している老人達を、人員配置の極めて不十分な転換型老人保健施設で療養させようという恐るべき計画である。新型姥捨施設としか云いようがない。「長生きしてごめんね」と親に云わせないためにも、この再編案は廃案にすべく、介護支援専門員も団結すべきではなかろうか。

藤本 喜章



今年度、副会長という大役を仰せつかりました。現在は京都府老人福祉施設協議会の副会長をしております。当協議会の懸案事項でありました社団法人化が認可されましたことに対し、長年ご尽力をいただきました諸先輩方の皆様に敬意を表しますとともに、役員の一ひと

て責任の重大さを痛感しております。

今後は、ご利用者と会員の皆様の声を聞かせて頂き、ともに歩み、さらには各関係機関との連携を図り、会の発展に微力ながら努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

山岸 孝啓



今回、副会長という重責を任命されました。微力ですがどうか宜しくお願い致します。私は行政や関係諸団体との連絡調整や現場で実践するケアマネの皆さんの声を大切に聴き、行動していきたいと思っています。生活を支える視点を大事にして、働く人と生活者の方の快い暮らしの実現が私の命題ですので、それを土台にして会活動を頑張ります。

理事

池田 文武



昨年に理事を拝命して2年目になります池田です。

この度は上原会長をはじめとして、前・現役員の方々の努力によって法人化が実現し、誠に喜ばしいことと思います。私的には、会としてのこの重要な時期に、なかなか理事会さえも出席できず、他の役員の方々にご迷惑をかけることが多く、申し訳なく感じている次第です。

理事の方々のご配慮をいただき、ブロック担当理事ということで、現在さらにその重要性が増している。介護(ケアマネ)と医療(主治医)との連携促進について、地域で活動させていただきたいと考えています。積極的な会に貢献する活動は難しいのですが、足手まといにならないようにしたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

石原正三



京都府介護福祉士会会長の石原です。

京都府介護支援専門員会の理事を昨年4月に拝命させていただいておりますが、仕事と京都府介護福祉士会のため、理事会も欠席させてもらうことがあり、大変申し訳なく思っています。京都府介護福祉士会としましても、介護支援専門員会と緊密に連携をとらせていただき、社会に貢献をしていきたいと考えております。そのためにも、できるだけ早く社団法人化を目指して動き始めています。何卒よろしくお願い申し上げます。

市田 哲郎



京都市左京区で開業しております市田と申します。前回の理事会から微力ながら理事を拝命しております。地区医師会でも介護保険担当の理事をしており、介護と医療の連携を使命としております。これからも京都府全域での連携をより良いものとするべく努力してまいります。皆さまのご指導ご鞭撻をお願いいたします。

井上 基



高齢者の保健・医療・福祉・介護を取り巻く状況は益々厳しくなっています。高齢者に携わる我々介護支援専門員は、制度を活用するだけでなく、制度・政策の改善に向けて働きかけていくことも重要な職責だと思います。

本会が、発言する・行動する団体としてあり続けるよう取り組んでいく所存です。宜しくお願い申し上げます。

出野 平恵



今年度より、理事を務めさせていただきます出野と申します。

今日、介護を必要としている人の多くが、介護支援専門員の支援やインターネットの介護情報、口コミなどをもとに、介護の安全性、信頼性、サービス面の充実などを吟味して、自分のニーズを一番満たしてくれる事業所を選ぶようになってきました。

介護事業者が利用者の利益や権利を擁護するサービスを提供されるよう、介護支援専門員から「利用者の最善の利益」追求の中で、事業者に対しても不断の支援が行われることが望まれています。

さまざまな方面から期待されています本協議会の活動のさらなる拡大と拡充に、私も会員の一人として、会員のみならずと共に頑張りたいと思っています。ご先輩方々のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

上田 充子



この度、理事・事務局次長を拝命致しました。非常に大役ですが、皆様のお力をお借りしながら少しでもお役

にたてるように微力を尽くしたいと存じます。最後まで自分らしく生きることを応援できる介護支援専門員の一人として、自己研鑽して行きたいどうぞよろしくお願い致します。

小川 栄二



立命館大学で、「社会福祉援助技術論」を担当し、傍ら地域の高齢者の生活問題やホームヘルパーの援助論を研究しています。介護保険制度2006年の大改定、障害者自立支援法の施行、目前に迫った後期高齢者医療制度など、国民と医療・福祉従事者は大変厳しい環境に置かれています。微力ですが、お役に立てよう努力します。

小野 京子



今年度より、理事に新任しました。現在京都府訪問看護ステーション協議会の副会長をしております。医療、介護ともに提供体制の再編がされようとしています。病院中心から生活中心にシフトされ、医療依存度の高い方、終末期・看取りのケアが多くなることが予測され、訪問看護の役割が期待されます。介護支援専門員との連携がより一層重要となります。今後も微力ですが介護支援専門員会に役立てよう、務めたいと思います。よろしくお願い致します。

倉橋 伸恵



丹後ブロックの担当理事をさせてもらっています。京都府北部丹後の地で、地域の利用者さんの、ささやかでも生活の質の向上のため生活に寄り添いながら現場で援助を行っています。今回法人としての認可を受け改めてこの会の重要性を認識しております。組織力の強化はもとより、仲間を通してケアマネの質の向上、ネットワーク作り、自覚と責任を持ち合わせた元気なケアマネを支援できるよう努力したいと思います。不器用でどれだけお役に立てるか解りませんが皆さんと一緒に頑張れるようよろしくお願い致します。

児玉 邦子



社団法人京都府介護支援専門員会となり、改めてその一員となることに、身の引き締まる思いです。現場で働く一介護支援専門員としての感性を大事にし、出来るだけ人生の最後の時まで、自らの生活の場を自分で選択でき、過ごせるよう、援助していきたく願っています。一人で出来る事は少なくても、皆が力を合わせれば、変えていける！ そのために現場の声が反映されるよう、微力ですが、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

小林 啓治



無事、法人化でき“ほっ”としています。暗いニュースが日々流れ、日本の社会保障制度も大丈夫か？と思うこのご時世ですが、本会がケアマネという仕事に誇りと情熱を持ち続けて活躍していただける一助になるべく法人化を機に心気一転精一杯努力する所存です。引き続きよろしくお願い致します。

静野 博信



役員改選により今年度から新しく理事となりました。色々わからない事もありますが、先輩理事の方から学びながら与えられた責務を、精一杯頑張っていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。

高江 史彦



法人化にあたり引き続き理事を拝命しました。介護支援専門員が職能として確立できるよう、微力を注いでいきたく思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

徳地 正純



今年度より当会理事を拝命いたしました京都府歯科医師会地域保健担当常務の徳地正純です。歯科医師会では前年度より京都市の委託で口腔機能向上教室を開催しており、地域連携センター構想のもと会員の皆さんの目に見える窓口づくりを目指しております。お気軽にお声掛けください。

内藤 雅子



病院の医療ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター（現在は地域包括支援センターランチ）の社会福祉士、そして居宅介護支援事業所の介護支援専門員の三つの業務を兼任しています。どの業務も、患者さん・市民の方・介護を要する方とご家族の方々の生活問題・課題に対する相談援助業務ですが、介護支援専門員以外の二つの業務も行っていることから、介護支援専門員の役割の重要性や期待も実感しています。介護が必要になっても安心して生活できる社会を目指して、微力ではありますが、会員の皆様方と力を併せて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

福富 昌城



今年度より、理事を務めさせていただきます福富と申します。大学で教員をしております、研究テーマはケアマネジメントです。介護支援専門員としての実務はしていませんが、本会会員の皆様のために役に立てるように、頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

藤井さよ子



理事就任2年目にして、当会の社団法人化が実現し、これから私たちの役割はますます重要なものになると思います。研修担当の一員ですが、充実した研修の実施に向けて、他の役員の方々とともに取り組んでいきたいと思っています。また、微力ではありますが会員の皆様の意見を広く収集しながら、よりよい会にしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

松本 善則



引き続き中部ブロックを担当させていただくことになりました。主任介護支援専門員の制度化や更新制の導入など、介護支援専門員はその役割や責任がより具体化しています。同様に職域団体としての本会に対する期待も会の内外を問わず大きなものになっていると感じています。一方、現場では介護支援専門員の地位確立、煩雑な実務、個々の資質向上等々、まだまだ課題は山積んでいます。法人化を新たなスタートとし、こういった期待、問題に対する答えを形に出来ればと頑張ります。

真辺 一範



この度学識経験者という立場で理事を拝命いたしました真辺一範です。現在、社会福祉法人嵐山寮に所属しながら、関西学院大学大学院の研究者としてケアマネジメントの研究にも取り組んでいます。介護保険制度におけるケアマネジメントの分野は、居宅に限らず施設や居住系に多様な広がりを見せてきています。介護支援専門員の方々のご苦労も絶えないと思いますが、皆さんの資質の向上に僅かでも貢献できればと願っています。よろしくお願いいたします。

南出裕美子



制度発足時より、現場のケアマネージャーとして、様々な課題を感じながら仕事をしてまいりましたが、このたび、社団法人化という新たな節目に、理事をおおせつかり、気持ちの引き締まる思いです。

ケアマネージャーに期待されるものが、益々高まっている中で、一人ひとりが、迷うことなく本来のケアマネジメントを遂行し、やりがいを持って専門性を追求していけるようお手伝いさせて頂けたらと思っています。そして、府民の皆様に信頼していただき、安心して暮らせる地域ネットワーク構築を目指して、微力ながらも取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

山下 宣和



京都府介護支援専門員協議会が社団法人京都府介護支

援専門員会になり、これまで以上に社会的な期待と責任を負うことになりました。

若輩ものの私ですが、介護支援専門員のみなさんのため、府民のみなさんのために貢献できればという思いです。介護支援専門員のみなさんや、府民のみなさんの声にしっかり耳を傾けることが大切だと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。

監 事

油谷 桂朗



この度はからずも監事に再任させていただきました。

今から思えば介護保険制度の発足の時、現会長の上原春男氏と共に各方面に本会設立のご協力をお願いしたことが思い出されます。会員各位と役員の皆様のご苦労によって、今では会員数も行政の信頼も増し、立派な組織に成長しました。法人化をなしとげて執行部の皆様は更に盡力されますが、私も及ばずながら微力を盡くしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

源野 勝敏



協議会の設立時から監事をさせていただいています。

法人化により当会に対する期待と共に責任も増してくると思われれます。適正な運営のためには、役員方の努力と会員の皆様のご協力も大切と考えます。

平成18年度事業報告について

平成18年度は本協議会の、より一層の「組織力の強化」・「介護支援専門員の質の向上」・「関係組織との連携」を三本柱に各種事業を展開してきた。

「組織力の強化」については、臨時総会で承認された社団法人化は、京都府介護支援専門員協議会の解散並びに、社団法人化の設立が認められ、19年度中には認可される見通しとなった。

「介護支援専門員の質の向上」については、介護支援専門員の法的な位置づけが明確にされ、研修体系が見直されたことを受け、従来とは違った形式の研修内容で実施した。また介護支援専門員の免許更新制度の導入に伴い京都府からの更新研修の受託を本年度から開始した。

「関係機関との連携」については、京都府・京都市等関係団体から各種審議会委員への推薦依頼について速やかに対応するとともに、本会から関係団体に向けて介護支援専門員の日常業務推進のために積極的に連携を図ってきた。

本協議会の事業運営に当たっては、部会を総務、研修、調査・研修、地域連携推進の4部会に再編成して、必要に応じて役員外から部会員として参画いただき、各種委員会を設立して執行してきた。

【職能団体として実施した組織の強化内容】

- ①社団法人化準備委員会を設け、社団法人化に向けての活動を行った。
- ②京都府内の介護支援専門員全員の加入を目指して、各種会合、ブロック活動等を通じて入会の呼びかけを行ってきた。
- ③ブロック委員を中心に各地域の事情を踏まえた研修会・勉強会等を通じて組織強化を図り、会員相互の連携、介護支援専門員としての悩み・問題の解決を手助けするとともに、国・京都府・各市町村、あるいは本協議会への意見・要望等を吸い上げる環境作りを行ってきた。
- ④日本介護支援専門員協会に積極的に参加し、研修の機会を会員に浸透させた。また、近畿ブロック2府4県の協力関係を密にするとともに、平成19年3月10・11日に奈良市で開催された第6回近畿介護支援専門員研究大会への協力を行った。

【受託事業について】

- ①京都府より、更新研修（専門研修課程Ⅱ）、主任介護支援専門員研修を開催した。
- ②京都市より、ケアプラン指導研修・予防プラン指導研修を受託した。

【会員及び府民への情報提供体制の強化】

- ①会員への各種情報提供のため、ホームページの充実を図った。
- ②会員への情報提供のため、会報「ケアマネ・ポート」を発行した。
- ③会員を対象とした相談窓口を設けた。

【各種審議会への委員推薦について】

京都府・京都市他各種団体から依頼されている各種審議会等へ委員を推薦し、介護支援専門員の声を反映させた。

【各部会・委員会の活動内容】

- ①総務部会
編集委員会は、昨年度に引続きホームページの充実を図ってきた。
法人化準備委員会は、社団法人化への作業を進めてきた。
- ②研修部会
受託事業運営委員会は受託した各研修事業の企画・運営を検討した。

③調査・研究部会

会員支援委員会は会員からの相談窓口の運営をした。

ケアマネジメントハンドブック作成委員会はケアマネジメントハンドブックの作成を担当しており、19年度前半には発行する予定。

④地域連携推進部会

ブロック活動支援委員会は8ブロック地区への支援を今年度も実施した。

地域包括支援センター対策委員会は94ヶ所にもわたる地域包括支援センターとの連携を図った。

概要は次のとおりである。

1. 会員数

平成19年5月末現在の会員登録者数は、2,241名である。

(内、平成18年度新入会員260名、退会339名、平成19年度新入会員95名、退会22名)

2. 平成18年度総会

(1) 定期総会

日 時	平成18年6月10日(土) 13:30~15:20
場 所	京都商工会議所 3F 講堂
参 加 者	122名(委任状提出762名)
概要・議題	○議事 ・平成17年度事業報告 ・平成17年度収支決算報告、監査報告 ・役員の選出について ・平成18年度事業計画(案)、収支予算(案) ・会則・規定の一部変更について(案)
	○記念講演 演題:「高齢者の援助拒否」 講師:立命館大学産業社会学部人間福祉学科 教授 小川 栄二氏

3. 理事会、部会、委員会の開催

(1) 理事会

	日 時	場 所	出席役員数	議 事
第1回	平成18年5月27日 14:00~	ハートピア京都	顧問1名 理事13名	○報告事項 ・ブロック研修会報告 ・平成17年度下半期ブロック活動報告 ・京都市ケアマネジメントリーダー活動研修会報告 ・平成17年度京都市ケアマネジメントリーダー活動報告 ・正副会長会議(5月19日)報告 ・京都新聞(5月15日夕刊)掲載の記事への抗議について ・日本介護支援専門員協会支部設立に関する説明会報告、 日本介護支援専門員協会第3回理事会報告 ・事務局職員の雇用について ・会員動向(平成18年5月26日現在) ○協議事項 ・平成18年度定期総会議案について ・各委員会への委員の推薦について

	日 時	場 所	出席役員数	議 事
				・「医療フォーラム」への賛同について ・第6回レジデンシャルケア研究（京都）会議への後援について ・「ケアマネジメント・オンライン」への相互リンクと情報提供について ○その他 ・第40回日本作業療法学会レセプションについて
第2回	平成18年7月19日 14:00～	京都府医師会館	理事16名 監事1名	○報告事項 ・ケアマネジメントハンドブック作成について ・京都市研修事業受託契約について ・京都市との懇談会について ・日本介護支援専門員協会総会および事務担当者会議報告 ・日本介護支援専門員協会委員の推薦について ・近畿ブロック代表者会議報告 ・第1回社会福祉研修事業運営協議会 ・第1回介護機器普及事業運営会 ・「ハートピア京都」ホームページ掲載について ・京都府社会福祉協議会常務理事の交代について ・会員動向（平成18年7月18日現在） ○協議事項 ・相楽ブロック研修事業計画および予算案について ・理事会組織編成について ・今後の予定について ・社団法人化について ・ブロック活動について ・府民公開講座について ・京都府より受託の研修事業について ・各委員について ・醍醐地域関係者連絡会議への役員派遣について ・第12回社会福祉研究交流集会への後援依頼について
第3回	平成18年10月21日 16:00～	ハートピア京都	理事15名	○報告事項 ・社団法人化について ・受託事業について ・ブロック活動について ・相談窓口への対応について ・ケアマネ・ハンドブック作成について ・地域包括支援センター社会福祉士実務研修について ・日本介護支援専門員協会第2回全国介護支援専門員保険担当者会議 ・京都府医療推進協議会第8回代表者会議 ・京都府くらしの安心・安全ネットワーク事務局より消費者被害防止に係る啓発ビデオの提供について ・その他 ・会員動向（平成18年10月21日現在） ○協議事項 ・独自研修について

	日 時	場 所	出席役員数	議 事
				・府民公開講座について ・実務研修について ・相談窓口について ・委託事業について ・第14回京都府老人保健施設大会開催案内及び申込書のホームページ掲載について ・近畿地域福祉学会平成18年度大会の会員への案内について ・社団法人シルバーサービス振興会「知るNAVI」サイトへのリンク貼付について ・（財）介護労働安定センター京都支部「メンタル・ヘルスのカウンセリング」実施に伴う介護事業主等へのPRの依頼について ・京都府歯科医師会より「いい歯の日週間」記念行事開催案内のホームページ掲載依頼について
第4回	平成18年12月27日 15:00～	ハートピア京都	理事14名 監事1名 オブザーバー1名	○報告事項 ・受託事業について ・ブロック活動について ・相談窓口への対応について ・ケアマネ・ハンドブック作成について ・介護予防事務改善に係る検討委員会 ・介護予防ケアマネジメント現任研修講師派遣について ・主任介護支援専門員研修指導者養成研修会について ・近畿介護支援専門員研究大会奈良大会開催について等 ・会員動向（平成18年12月27日現在） ○協議事項 ・社団法人化について ・日本介護支援専門員協会…第3回理事会報告、代議員予備代議員の選出について報告、議事運営委員の選出について、支部長会議開催について ・介護認定審査員の推薦について
第5回	平成19年2月19日 15:00～17:00	ハートピア京都	理事11名	○報告事項 ・受託事業について ・相談窓口への対応について ・ケアマネ・ハンドブック作成について ・日本介護支援専門員協会支部長会議 ・第2回京都府地域リハビリテーション連携推進会議 ・介護予防事務改善に係わる検討委員会 ・介護認定審査員の推薦について ・近畿介護支援専門員研究大会奈良大会について等 ・会員動向（平成19年2月18日現在） ○協議事項 ・社団法人化について ・ブロック研修会について ・事務局体制について ・ホームページ掲載について

	日 時	場 所	出席役員数	議 事
				・「京都市における今後の社会福祉研修のあり方」答申（案）に関するご意見の募集について（依頼）等

4. 広報活動

（1）会報「ケアマネ・ポート」の発行

厚生労働省の通知等中央情勢や協議会の活動、各種伝達事項を会員に伝えるため、会報「ケアマネ・ポート」第26号～第27号を発行した。

今年度発行分の内容は下記の通り。

- ・これだけは知っておきたい介護保険制度見直しのポイント
- ・平成18年度京都府介護支援専門員協議会通常総会報告のお知らせ、報告
- ・会長就任のご挨拶
- ・役員紹介
- ・関係団体・行政等からのお知らせ

5. ブロック活動

丹 後	委員会／6回開催…研修会打合せ、準備、反省会等 研修会／2回開催 ●平成18年9月2日 於 アグリセンター大宮（出席者 34名） 演題「精神障害者の理解」～人が人を援助するというのはどういうことだろう～ 講師：京都府精神保健福祉相談員 家原 敏彰氏 精神障害者のケアマネジメントアドバイザー：いちがお園在宅介護支援センター 戸石 和子氏 ●平成19年3月3日 於 大宮ふれあい工房 大研修室（出席者 47名） 演題『高齢者を地域で支えていくには』小規模多機能型居宅事業者からの実践報告 講師：はしうど福祉会いわきの里 谷口由香里氏 丹後福祉会ふれあいホーム下岡の家 三宅 通子氏
中 丹	委員会／1回開催…研修会打合せ、準備等 研修会／1回開催 ●平成19年2月24日 於 アスパホール（出席者 36名） 演題「面接の技法」 講師：梅花女子大学現代人間学部講師 植田 寿之氏
中 部	委員会／1回開催…研修会打合せ等 研修会／1回開催 ●平成19年2月24日 於 南丹市国際交流会館（出席者 44名） 演題「サービス担当者会議について」 講師：財団法人 仁風会 居宅介護支援事業所 管理者 川添チエミ氏
京 都 市 北 部	委員会等／1回開催…ブロック委員、担当理事意見交換会 研修会／1回開催 ●平成18年11月11日 於 京都社会福祉会館 演題「ケアプラン自己点検とモニタリングについて」 講師：財団法人 仁風会 嵯峨野病院居宅介護支援事業所 川添チエミ氏
乙 訓	研修会等／1回開催 ●平成19年3月3日 於 済生会京都府病院2階講堂（出席者 25名） 演題「ケアを創る、よりよい介護を目指して」 講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 備酒 伸彦氏

南山城	委員会／2回開催…H18年度事業計画（案）について、研修会打合せ等 研修会／2回開催 ●平成18年10月28日 於 城陽市寺田コミュニティーセンター（出席者 55名） 演題「居宅介護支援事業所の主眼事項・着眼点のおさらい」 講師：京都府山城北保健所 川島 隆夫氏、市本 彰氏 演題「実地指導を終えて」 講師：サンてらす 大垣千恵子氏 ●平成19年2月10日 於 城陽市寺田コミュニティーセンター（出席者 30名） 演題「在宅と施設のよりよい連携を目指して」 講師：社会福祉法人 弥勒会 特別養護老人ホーム井出の里 伊佐いく子氏
相楽	委員会／5回開催…研修会打合せ、交流会打合せ・反省会等 研修会／2回開催 ●平成18年7月29日 於 かのき苑（出席者 57名） 演題「介護と福祉と医療のネットワーク構築に向けて ——地域包括センターとケアマネジャー」 講師：福富 昌城氏（花園大学教授） ●平成19年2月24日 於 山城ぬくもりの里（出席者 40名） 演題「知って得する相談援助、知らないと怖い権利擁護」 講師：ネエブルーム北加賀屋 施設長 吉田 弘樹氏 咲花病院 在宅事業部長 松浦 騰氏

6. 委託事業の実施

（1）専門研修課程Ⅱ事業

京都府から、専門研修課程Ⅱ事業を受託し、研修会を実施した。研修修了者は、居宅は、北部開催が77名、京都市開催は96名、南部開催は86名、施設73名の合計332名であった。

前期

受講対象	日時	会場	内容
北部 居宅・施設合同	平成18年11月13日 9：00～18：40	舞鶴西駅交流センター	・介護支援専門員特別講義 講師：京都府国民健康保険団体連合会 総務部介護保険課介護相談係 係長 佐藤 邦弘氏 京都府消費生活科学センター長 澁谷 悦子氏 ・サービス担当者会議演習 京都府介護支援専門員協議会 理事 山下 宣和氏 ・介護支援専門員の課題 合資会社小春日和 代表 松味喜久代氏
京都市 居宅・施設合同	平成18年11月22日 9：30～18：40	京都市勧業会館 (みやこめっせ)	・介護支援専門員特別講義 講師：京都府国民健康保険団体連合会 総務部介護保険課介護相談係 係長 佐藤 邦弘氏 京都府消費生活科学センター センター長 澁谷 悦子氏 ・サービス担当者会議演習 財団法人仁風会嵯峨野病院 居宅介護支援事業所 川添チエミ氏 ・介護支援専門員の課題

		日 時	会 場	内 容
京都市	尾設高			梅花女子大学現代人間学部 人間福祉学科 講師 綾部 貴子 氏
南 部	居宅・施設合同	平成18年11月28日 9:30~18:40	文化パーク城陽	・介護支援専門員特別講義 講師：京都府国民健康保険団体連合会 総務部介護保険課介護相談係 係長 佐藤 邦弘 氏 京都府消費生活科学センター センター長 渋谷 悦子 氏 ・サービス担当者会議演習 京都市洛東地域包括支援センター センター長 吉良 厚子 氏 ・介護支援専門員の課題 花園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 福富 昌城 氏

後期

		日 時	会 場	内 容
北 部	後期居宅	平成18年12月3日 10:00~17:00	舞鶴西駅交流センター	・居宅介護支援事例研究 京都府介護支援専門員協議会 理事 山下 宣和 氏
		平成18年12月4日 10:00~17:00		
	後期施設	平成18年12月25日 10:30~17:30	京都テルサ	・施設介護支援事例研究 種智院大学社会福祉学科 非常勤講師 溪村 真司 氏
		平成18年12月26日 10:00~17:00		
京 都 市	後期居宅	平成18年12月11日 10:00~17:00	京都テルサ	・居宅介護支援事例研究 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺 一範 氏
		平成18年12月12日 10:00~17:00		
	後期施設	平成18年12月25日 10:30~17:30	京都テルサ	・施設介護支援事例研究 種智院大学社会福祉学科 非常勤講師 溪村 真司 氏
		平成18年12月26日 10:00~17:00		
南 部	後期居宅	平成18年12月19日 10:00~17:00	文化パーク城陽	・居宅介護支援事例研究 京都市洛東地域包括支援センター センター長 吉良 厚子 氏
		平成18年12月20日 10:00~17:00		
	後期施設	平成18年12月25日 10:30~17:30	京都テルサ	・施設介護支援事例研究 種智院大学社会福祉学科 非常勤講師 溪村 真司 氏
		平成18年12月26日 10:00~17:00		

(2) 主任介護支援専門員研修

京都府から主任介護支援専門員研修を受託し、開催した。研修修了者は、115名であった。

	日 時	会 場	内 容
前 期	平成19年1月23日 9:50~19:30	アピカルイン京都	・主任介護支援専門員の役割と視点（地域包括支援センターの運営を含む） 講師：ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸氏 ・ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理 京都府介護支援専門員協議会 理事 小林 啓治氏
	平成19年1月24日 8:30~19:00		・地域援助技術 講師：ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸氏 ・人事・経営管理 講師：京都府介護支援専門員協議会 理事 小林 啓治氏
	平成19年1月25日 8:00~15:30		・サービス展開におけるリスクマネジメント 講師：(株)ふわふわスペース研究所 代表取締役 森山 裕輔氏 ・ターミナルケア 講師：金井病院 濱戸真都理氏
中 期	平成19年2月22日 10:00~21:30	アピカルイン京都	・対人援助者監督指導（スーパービジョン） 講師：ルーテル学院大学 教授 福山 和女氏 京都府介護支援専門員協議会 理事 内藤 雅子氏
	平成19年2月23日 8:30~18:30		
後 期	平成19年2月28日 10:00~21:00	アピカルイン京都	・事例研究及び事例指導方法 講師：日本福祉大学 中央福祉専門学校 社会福祉科通信課程 学科長 長岩 喜文氏
	平成19年3月1日 8:00~19:00		
	平成19年3月2日 8:00~12:10		

(3) 介護支援専門員研修

京都府消費生活科学センターから介護支援専門員研修を受託し、開催した。受講者数は、北部開催34名、南部開催106名であった。

	日 時	会 場	内 容
北 部	平成18年11月14日 9:45~16:10	京都府立舞鶴勤労者福祉会館	・くらしの安心・安全ネットワークについて 講師：京都府消費生活科学センター 所長 ・ビデオ上映「あれ？もしかして…」～高齢者を狙う悪質な住宅リフォーム～
南 部	平成18年11月24日 9:45~16:10	京都テルサ	・講義「高齢者・障害者の消費者トラブルについて」 講師：弁護士 ・講義「消費生活相談から学ぶ」 講師：京都府消費生活科学センター 相談員 ・実習「クーリングオフ葉書の書き方」 講師：京都府消費生活科学センター 相談員 ・事例検討～消費者トラブルを防止するために～ 講師：京都府消費生活科学センター 相談員・職員 ・くらしの安心推進員について 講師：京都府消費生活科学センター 職員

(4) ケアプラン指導研修

京都市から、ケアプラン指導研修事業を受託し、研修会を開催した。研修修了者は、居宅112名、施設77名の合計189名であった。

	日 時	会 場	内 容
居 宅	平成18年 9 月26日 10:00～17:00	京都テルサ	・講義：「介護老人福祉施設への入所申込書の書き方について」 講師：京都市老人福祉施設協議会 監事 ・講義：「ケアプランの自己点検とモニタリングについて」 講師：財団法人 仁風会 嵯峨野病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員 川添チエミ 氏 ・グループワーク
施 設	平成18年10月 2 日 10:00～17:00	ハートピア京都	・講義：「施設ケアプランについて」 特別養護老人ホーム同和園 園長 橋本 武也 氏 ・事例検討会

(5) 京都市介護予防ケアプラン指導研修

京都市から、介護予防ケアプラン指導研修事業を受託し、研修会を開催した。研修修了者は、合計404名であった。

日 時	会 場	内 容
平成18年 9 月11日・12 日・22日・10月 5 日・ 12日・24日 10:00～17:00	京都テルサ	・講義：「要支援者のサービス利用実態調査について」 講師：京都市保健福祉局長寿社会部介護保険課 荒賀 陽子 氏 ・講義「ケアプランの作成について」 講師：財団法人 仁風会 嵯峨野病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員 川添チエミ 氏 ・演習 ・グループワーク

7. 日本介護支援専門員協会会議への出席

- ・日本介護支援専門員協会第1回通常総会
(平成18年 5 月28日13:30～16:30 於 弘済会館)
- ・第2回 全国介護保険担当者会議
(平成18年 9 月20日13:30～16:00 於 GRSビジネスセンター八重洲annex)
- ・日本介護支援専門員協会第1回支部長会議
(平成19年 2 月10日17:00～18:30 於 八重洲山川ビル)

8. 近畿介護支援専門員協会代表者会議への出席

- ・第6回近畿介護支援専門員研究大会
(平成19年 3 月10日～平成19年 3 月11日18:30～20:00 於 奈良県文化会館・奈良県新公会堂)

9. 京都府・京都市等の各種審議会・委員会等への委員の推薦

委 員 会 名	委 員
京都府高齢者自立支援推進委員会 京都府介護支援専門員支援推進専門会議	久世富美子
京都府高齢者サービス総合調整推進会議 (京都府高齢者保健福祉計画等検討委員会)	土居 正志
京都府介護予防推進委員会	山地 岑代
京都府地域リハビリテーション連携推進会議	村上 淳
京都府介護・福祉サービス第三者評価等支援機構	清水 紘
グループホーム外部評価調査員	兒玉 邦子
京都市長寿すこやかセンター運営委員会 京都市民長寿すこやかプラン推進協議会	木村 晴恵
京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク連絡会議	木村 晴恵
京都市社会福祉協議会苦情解決第三者委員会	上原 春男
京都市社協・洛西ふれあいの里保養研修センター 介護機器普及事業運営協議会	上田 充子
京都市社協・洛西ふれあいの里保養研修センター 社会福祉研修事業運営協議会	吉良 厚子
京都市における社会福祉研修のあり方研究委員会	上坂 久乃
京都府医療推進協議会	市田 哲郎
京都市介護認定審査会委員 北区	松本よしえ
京都市介護認定審査会委員 左京区	川添チエミ
京都市介護認定審査会委員 中京区	吉村 千里
京都市介護認定審査会委員 下京区	上田 充子
京都市介護認定審査会委員 右京区	吉良 厚子
京都市介護認定審査会委員 右京区	谷村 敏幸

平成18年度収支決算書

自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費 収 入	14,715,000	8,154,000	△6,561,000	入会金 269名分 18年度分会費 1,745名分 過年度分会費 86名分
委 託 料 収 入	8,896,000	12,450,000	3,554,000	府専門研修Ⅱ 府主任研修 市ケアプラン指導研修 社協実務研修
事 業 収 入	6,610,000	8,168,538	1,558,538	研修会受講料 書籍販売手数料等
雑 収 入	1,000,000	1,468	△998,532	預金利息等
前年度繰越金	5,953,978	5,953,978	0	
合 計	37,174,978	34,727,984	△2,446,994	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
賃 金	6,558,000	5,425,921	△1,132,079	事務局職員賃金
共 済 費	730,000	724,149	△5,851	事務局職員社会保険料、 労働保険料
報 償 費	5,377,000	6,584,900	1,207,900	研修事業講師報償費、 相談報酬等
旅 費	2,926,600	1,420,694	△1,505,906	研修事業講師旅費、 理事会等役員旅費等
需 用 費	6,504,800	7,185,915	681,115	消耗品購入、光熱水費、印刷費、 書籍購入、研修会講師弁当代等
役 務 費	3,038,800	2,709,869	△328,931	発送費、電信電話料、郵送料、 テープ起こし料、振込料等
使用料及賃借料	2,340,000	2,790,775	450,775	研修会場使用料、 コピー機リース料等
備 品 購 入 費	200,000	253,050	53,050	パソコン購入
負担金、補助金 及交付金	6,482,700	547,700	△5,935,000	ブロック活動交付金 社会保険協会会費 医療推進協議会イベント負担金 私病協懇親会会費
雑 費	0	289,800	289,800	会議参加費・消費税等
予 備 費	3,017,078	0	△3,017,078	
合 計	37,174,978	27,932,773	△9,242,205	

収 入 額 34,727,984円

支 出 額 27,932,773円

残 額 6,795,211円 (平成19年度に繰り越し)

平成19年度京都府介護支援専門員協議会通常総会報告

平成19年度通常総会が4月14日（土）に開催されましたのでご報告いたします。

日 時：平成19年4月14日（土）13：30～14：05

場 所：アピカルイン京都

出席者：出席者1666名（会場出席190名 委任状1476名）欠席502名

内 容：

【上原会長より挨拶】

介護支援専門員は、介護保険制度の創設に伴い設置された新しい職種であるが、介護保険発足当時、介護支援専門員の実務や活動については全く分からず、不安を抱えての出発であった。

そうした不安を解消するため、介護に関する情報発信や情報交換、そして何よりも介護支援専門員の資質向上を目指して平成12年11月関係27団体の協力を得て、京都府介護支援専門員協議会が発足した。

本協議会は、介護支援専門員が抱える悩みの相談窓口の設置、ケアマネ・ポートやケアマネコムによる情報発信、研究会・研修会の開催による資質の向上とともに、会員同士の情報交換の場など様々な事業を展開してきた。

しかしながら、介護支援専門員という職種に対する社会的認識が深まるにつれ、京都府介護支援専門員協議会が任意団体であるにもかかわらず、京都府・京都市など行政からの委託事業は増える一方であり行政や関係団体への委員の派遣も増える一方である。さらに介護支援専門員の仕事そのものが、質量ともに府民から求められることが多くなり、介護支援専門員協議会が任意団体ではすまない状況になってきた。それを踏まえ、前回の理事会で法人化への移行を認めていただいた。

本日は協議会の法人化への目途がたち、それに伴い本協議会の解散と社団法人京都府介護支援専門員会の設立についてご協議をいただき、承認をいただきたい。

【来賓の挨拶】

◆京都市保健福祉局長寿社会部介護保健課 日名課長

介護保険制度は平成12年4月の創設以来、戦後のベビーブーム世代が高齢期を迎えるなど、きわめて急速に高齢化が進み、本格的な超高齢化社会の到来を目前に控えている。昨年の4月には、介護保険制度の基本理念である「高齢者の自立支援と尊厳の保持」を基本としつつ、将来にわたって制度が持続可能なものとなるよう、また独り暮らしの高齢者や認知症の高齢者が増加するなどの将来的な課題に対応できるよう、介護予防を重視した仕組みに制度が改正された。

京都市においても、来るべき超高齢化社会を見据えまして、高齢者施策を総合的に推進するため、今般の介護保険制度の改正を踏まえた「第3回京都市民長寿すこやかプラン」を策定したところである。

今後の介護支援専門員の活動に対しては、貴協議会の大きな支援がますます期待されるところであり、より一層のお力添えを賜りますようお願いしたい。

【議 事】

第1号～8号のすべての議案については、原案通り可決された。

【記念講演】

「障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント」

愛知淑徳大学医療福祉学部 教授 谷口 明広氏

京都府介護支援専門員協議会

平成19年度収支決算報告について

平成19年4月の総会で、京都府介護支援専門員協議会の解散と、社団法人京都府介護支援専門員会の設立を総会でご審議いただき了承された。下記の平成19年度収支決算報告は社団法人移行までの暫定会計で、10月11日に法人設立認可を受け、11月1日付にて京都府介護支援専門員協議会から社団法人京都府介護支援専門員会へ財産を寄付した。

以上

平成19年度収支決算書

自 平成19年4月1日 至 平成19年10月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費 収 入	0	7,350,000	7,350,000	入会金 110名分 19年度分会費 1,703名分
委 託 料 収 入	0	0	0	府専門研修Ⅱ 府主任研修 市ケアプラン指導研修 社協実務研修
事 業 収 入	0	8,945,100	8,945,100	研修会受講料
雑 収 入	0	327,218	327,218	預金利息 書籍販売手数料等
前年度繰越金	0	6,795,211	6,795,211	
合 計	0	23,417,529	23,417,529	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
賃 金	0	5,068,432	5,068,432	事務局職員賃金
共 済 費	0	802,659	802,659	事務局職員社会保険料、 労働保険料
報 償 費	0	1,871,800	1,871,800	研修事業講師報償費、 相談報酬等
旅 費	0	668,804	668,804	研修事業講師旅費、 理事会等役員旅費等
需 用 費	0	2,039,441	2,039,441	消耗品購入、光熱水費、印刷費、 書籍購入、研修会講師弁当代等
役 務 費	0	1,400,172	1,400,172	発送費、電信電話料、郵送料、 テープ起こし料、振込料等
使用料及賃借料	0	2,889,520	2,889,520	研修会場使用料、 コピー機リース料等
備 品 購 入 費	0	0	0	
負担金、補助金 及交付金	0	512,700	512,700	ブロック活動交付金 社会保険協会会費
雑 費	0	0	0	
雑 損 失	0	416,975	416,975	固定資産減価償却・除却費
予 備 費	0	0	0	
合 計	0	15,670,503	15,670,503	

収 入 額 23,417,529円

支 出 額 15,670,503円

残 額 7,747,026円 (社)京都府介護支援専門員会へ寄付

おしらせ

【京都市訪問調査の開始について】

本会では、京都市からの委託をうけ、平成20年2月から「訪問調査事業」を開始します。

この事業は平成18年4月の介護保険制度の改定に伴い、新期の認定調査は市町村が実施することになりました。現状では、京都市に配置されている認定調査員では全件を調査することが困難な状況であるため、介護保険法第24条の2第1項による指定事務受託法人として本会が委託を受け、現在29名の会員が調査員として登録されています。

【介護支援専門員 必携のハンドブック好評販売中】

本会、編集の「ケアマネジャーハンドブック」を会員特別価格で販売しています。

定価2,730円を会員価格2,450円（いずれも税込）

お問合せは事務局まで

【住所・氏名・勤務先等を変更された方へ】

住所・氏名・勤務先等を変更された方は、「住所・氏名・勤務先等変更届」をご提出いただきますようお願いいたします。変更届の用紙をお持ちでない場合は送付させていただきますので、事務局までご連絡下さい。

編集後記

今回の法人化にあたって、京都府のご協力が無ければこんなに早くに実現する事は無かったと思います。京都府には大変感謝しております。さて、これからが大変という感もありますが、名実ともに職能団体の公の団体として再スタートを切ることになりました。会員のみなさまに役に立つ会として活動を継続していく事を肝に銘じて、今後ともよろしくお願いいたします。

社団法人京都府介護支援専門員会理事
小林 啓治

京都ケアマネ・ポート「28号」

発行人
編集委員長

2008年2月1日 発行

上原 春男

小林 啓治

発行元

社団法人京都府介護支援専門員会

〔連絡先〕

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375
府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）7F
TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971
E-mail : kyotocaremane@wine.ocn.ne.jp
ホームページアドレス http://kyotocm.jp